

オールジャパンで勝ち取る 2025年万博誘致 ～4カ国の誘致競争が本格化～

2025年の国際博覧会(万博)誘致に向けて、日本、フランス、ロシア、アゼルバイジャンが立候補を表明し、誘致競争が本格化している。

日本は、本年3月に発足した「2025日本万国博覧会誘致委員会」が中心となり、官民一体となったオールジャパン体制で海外プロモーションや国内の機運醸成といった活動に取り組んでいる。

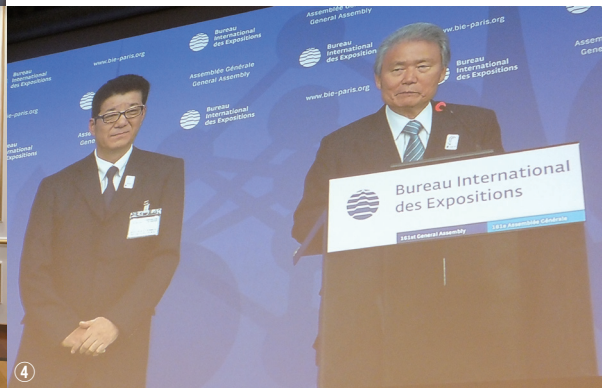
4カ国での誘致競争が本格化

日本政府は2025年の国際博覧会(万博)の誘致をめざし、2017年4月24日、博覧会国際事務局(BIE)に立候補を届け出た。すでに申請を行っていたフランスに加え、5月にはロシアとアゼルバイジャンも立候補を表明し、4カ国での誘致競争がスタートした。日本は、何としても誘致を勝ち取るべく、本年3月発足の全国組織である「2025日本万国博覧会誘致委員会(以下、誘致委員会)」が中心となり、海

外プロモーションや国内の機運醸成に取り組んでいる。誘致委員会の会長代行には松本正義 関経連会長が、副会長には森詳介相談役が就任。関経連でも7月に万博推進担当副会長(松下正幸副会長、角和夫副会長、大竹伸一副会長、八木誠副会長)を設けるなど、取り組み体制の強化をはかっている。

海外プロモーション —機会を逃さず、日本支持を要請

2025年万博の開催地は、2018年11月のBIE総会で行われる加盟国の投票によって決定する。このた



①アスタナ万博・ジャンパー ②韓国での万博支持要請 ③アスタナ万博・カイラット・アブドラフマノフ カザフスタン共和国外務大臣との会談 ④BIE総会でのプレゼンテーション

め、加盟国に対して日本での万博開催の意義や大阪・関西の魅力などを伝え、日本への支持を獲得していく必要がある。そのためには国・自治体・経済界などがもつ、あらゆるルート・機会を生かして働きかけを行うことが必須で、誘致委員会に参画する企業に対しても、自社と関係の深い国の要人や在京大使・在関西総領事等に会う機会をとらえ、日本支持を働きかけてもらうよう依頼している。

■BIE総会でのPR

6月14日フランス・パリで開催されたBIE総会には、誘致委員会の榊原定征会長（日本経済団体連合会会長）、松井一郎会長代行（大阪府知事）、松本会長代行（関経連会長）、吉村洋文副会長（大阪市長）らが参加した。

総会では、2025年万博の開催候補地に立候補している4カ国の代表によるプレゼンテーションが行われた。日本は、安倍晋三首相のビデオメッセージや榊原会長、松井会長代行のスピーチを通して、日本万博のコンセプトや大阪・関西の魅力をPRした。

日本がめざす万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来社会とは、国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）を達成した社会を意味し、日本は万博開催を通じて、持続可能な世界の実現に貢献していきたいと考えている。

BIE総会でのプレゼンテーションは、本年11月、来年6月にも予定されている。次回11月は、具体的な開催計画に基づき支持を訴える予定である。

■韓国におけるPR

6月10日～13日、韓国新政権との関係構築に向けて自由民主党の二階俊博幹事長が政府特使として韓国を訪問。2025年万博誘致の支持要請も行うべく、大竹関経連副会長や新井純 大阪府副知事、^{いちのま} 樫真夏 誘致委員会事務総長（関経連常務理事）はじめ、誘致委員会や関西経済界からも訪問団に参加した。2012年に韓国で開催された麗水万博の開催関係者らと面談し、日本への協力を依頼した。

■アスタナ万博でのPR

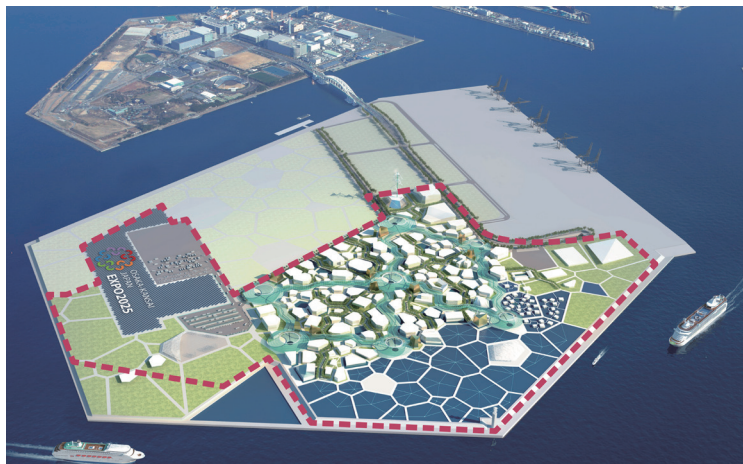
6月10日～9月10日、「未来のエネルギー」をテーマにカザフスタン共和国のアスタナで開催された万博（認定博覧会）には、日本政府も「Smart Mix with Technology～オールジャパンの経験と挑戦～」をテーマとした日本館を出展した。会期中は、各参加国のナショナルデーが連日開催されており、ジャパンデー（7月22日）では、日本伝統の和楽器アーティストによる特別公演などの式典が行われた。式典に出席した世耕弘成 経済産業大臣、松井会長代行、松本会長代行らは、カザフスタン首相への表敬訪問のほか、各国パビリオンへの訪問も行い、日本への

立候補国の万博構想

	日 本	フランス	ロシア	アゼルバイジャン
テーマ	いのち輝く 未来社会のデザイン	共有すべき知見、 守るべき地球	世界の変革： 子どもや将来世代のための 包括的なイノベーション	人的資本
開催地	夢洲（大阪・関西）	パリ郊外サクレ	エカテリンブルク	バクー
開催期間（2025年）	5月3日～11月3日	5月1日～10月30日	5月2日～11月2日	5月10日～11月10日

会場予定地（夢洲）

提供：経済産業省



今後の主な予定

2017年	11月	BIE総会
2018年	1月～3月ごろ	BIE調査団来日
	6月	BIE総会
	11月	BIE総会 開催地決定

支持を要請した。

カリブデーやセネガルデーなど他国のナショナルデーにも日本政府、誘致委員会、経済界などから関係者が参加し、各国に対してPRを行った。

来年11月のBIE総会で行われる加盟国の投票に向けて、あらゆる機会をとらえ、今後も日本支持を働きかけていく。

国内の機運醸成 —開催への共感・支持を全国へ

万博の誘致そして万博自体の成功に不可欠なのが国民の幅広い支持である。来年1～3月ごろに行われるBIE調査団の候補地調査でも国内の万博に対する盛り上がりは重視されるポイントといわれており、海外プロモーション同様、国内の機運醸成もしっかりと取り組まなければならない課題である。

■誘致委員会会員の拡大

ライバルのフランスではすでに公式サイトに賛同者数が11万人以上にのぼっている。日本でも誘致委員会が趣旨に賛同する個人会員を募集しており、一人でも多くの方に賛同していただくべく、各関係機関もそれぞれの手法で会員登録のPRを行っている。当会でも会員企業に対して、従業員ならびに従

業員の家族などに入会の呼びかけを実施した。こうした地道な活動の成果が出つつあり、個人会員は、2017年9月20日時点で、63,000人あまりまで増えている。今後さらなる会員の拡大をめざしていく。

■誘致ロゴマークを活用したPR

誘致委員会では、3月27日から5月1日にかけて誘致ロゴマークの公募を実施。応募総数1,331件のなかから、いのち輝く笑顔が輪になってつながっていく様子を表した「絵文字」をモチーフとした、以下のマークを選定した。



OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO2025

このマークを活用して、万博誘致を盛り上げるにあたり、①地元・関西を中心に万博誘致活動の認知を高める(6～9月)、②11月のBIE総会にあわせて、全国的な盛り上げにつなげる(10～12月)、③BIE調



⑤阪神甲子園球場(2017年7月25日) ⑥JR新大阪駅 ⑦大阪国際(伊丹)空港(岩谷産業広告スペース)
⑧2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟総会および万博誘致セミナー

査団が来日した際、機運の高まりを感じられる環境をつくる(2018年1～3月)の3つを当面のヤマ場として設定し、優先度・ターゲット等を明確にして取り組むこととしている。

6～9月にかけては、企業の協力のもと、関西の主要駅や空港、ホテル、イベント会場などにおいて、誘致ロゴマークを活用したポスターやデジタルサイネージなどで万博誘致をPRした。アイドルグループNMB48のメンバーが万博のテーマやロゴマークを紹介して誘致への賛同を呼びかける動画も作成。駅や空港のほか阪神タイガース戦やガンバ大阪戦が行われた阪神甲子園球場や市立吹田サッカースタジアムなど、多くの注目が集まる場所で放映した(写真⑤～⑦)。

各企業にも自社の広告スペースを使ったポスターや映像などの掲示のほか、誘致への賛同を呼びかける特製のポスターやクリアファイル、Tシャツなどの作成を通じてPRに協力いただいている。

今後も「万博開催に関する共感・支持」が国内に広まり、全国的な盛り上がりとなっていくよう、PR活動を全国に展開していく。

■2025年大阪万国博覧会を実現する

国会議員連盟総会および万博誘致セミナー

超党派の国会議員が昨年12月に立ち上げた「2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟」(会長：二階自由民主党幹事長)は、総会および万博誘致セミナーを本年7月26日に大阪府咲洲庁舎にて開催した(共催：誘致委員会)。セミナーでは、橋爪紳也大阪府立大学教授の基調講演のあと、パネルディスカッションが行われた。総会では誘致活動について報告があり、松本関経連会長が関西における国内機運醸成に関する取り組みを紹介した。その後催された懇親会では、サプライズゲストとして、西川きよし氏やハイヒールのお二人、NMB48のメンバーが登場し、万博への期待などを語り合い、参加者とともに誘致活動を盛り上げていくことを誓った(写真⑧)。

今後も誘致委員会のもと、官民一体となったオールジャパン体制で誘致活動を進めるが、当面は、11月のBIE総会、来年1～3月ごろに予定されるBIE調査団の来日をターゲットに、海外プロモーションと国内の機運醸成を強力に進めていく。

(産業部 中西康真)

2025日本万国博覧会誘致委員会 ご入会のお願い

2025日本万国博覧会誘致委員会では、大阪府や大阪市などの行政や、経済界(企業)、個人の皆さまなどさまざまな主体が参加して、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致実現をめざし活動しています。ぜひ本委員会へのご賛同・ご入会をお願いいたします。

★どなたでも入会できます。

★会費は無料です。

★本委員会の活動等

- ・本委員会の活動は2018年11月(開催地決定予定)までを予定しています。
- ・本委員会の活動報告やイベントの開催案内などをメールマガジン等を通じてご連絡します。

【開催概要】

■テーマ : いのち輝く未来社会のデザイン

■会場 : 大阪 夢洲(ゆめしま)
(市の中心部から湾岸部へ約10km)

■交通アクセス : 大阪駅から30分
関西国際空港から60分以内
※いずれも車利用

■開催地決定 : 2018年秋に決定(加盟国の投票)

<誘致委員会への入会方法>

誘致委員会ホームページ



会員募集



会員登録フォーム

から登録

<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/> EXPO 2025 検索



●連絡先 〒540-8570 大阪府大阪市中央区大手前2丁目1番22号

2025日本万国博覧会誘致委員会事務局(大阪府政策企画部万博誘致推進室)

電話 : 06-6944-6573 FAX : 06-6944-7442 e-mail : info@expo2025-osaka-japan.jp